



オーガニックやまぐち

令和3年度通常総会を開催しました 念願の食農講演会が開催できました

去る令和3年(2021年)8月8日に、2年ぶりとなる令和3年度通常総会を無事開催することができました。まず、なぜ協議会と産直部会の2つの総会を開催するのかについて説明させていただきました。出席会員21名、委任状68名ということで、会員総数(8月8日現在)137名の過半数(69名)を超える皆様のご賛同を得て、協議会4議案、産直部会3議案と1報告のすべてが賛成者多数ということで承認されました。役員をはじめ多くの皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。

採択された議案について簡単な報告をさせていただきます。

協議会の総会では、令和2年度の事業報告と令和3年度の事業計画案を説明しました。今年度は役員改選の年度であることから、神徳治雄さん、中原裕孝さんの2人の退任と渡邊寛さん、松西照美さん、西本葉子さんの3人の新任からなる役員案も提案しました。退任される役員の方、大変お疲れ様でした。新たに就任された役員の皆さん、お世話になりますが、新たな風を起こしてくださいませようお願いします。さらに山口県の有機農業推進のために活動している団体と協働するため、「山口県有機農業団体連絡協議会」への入会についても、承認いただきました。

休憩を挟んで産直部会の総会にはいりました。産直部会では予算を伴うことから、第一号議案では令和2年度事業報告と令和2年度決算報告、第二号議案では令和3年度事業計画案と令和3年度予算案を上程しました。三号議案としては協

議会の事業年度に合わせるための規約の改正です。最後の役員変更の報告は、産直部会の方は3年ごとの改正となっており、「役員の補充等は役員会の一任とする」となっていることから、報告ということにさせていただきました。

総会終了後には、本協議会の委員でもある西本葉子さんを講師に迎え、「食育から考える有機農業～第4次食育推進計画を踏まえて～」と題した講演をお願いしました。講演会の簡単な報告をさせていただきます。



包丁や食卓がない家庭があるといった衝撃的な報告から、講演は始まりました。西本さんの大変な体験に基づいたお話は、とても説得力のある内容でした。食の大切さの話から教育問題や環境問題さらには農業の重要性へと、講演は展開されていきました。いくつもの言葉が心に残りましたが、とりわけ、「私たちは、土と同じ命でつながっている」ことが私の心に響きました。つまり私たちのお腹の中の善玉菌の90%以上が、土壌菌の仲間なのだということです。とても有意義な時間を過ごすことができました。

ご参加くださった皆さんありがとうございました。皆さんはどのようにお感じになったのでしょうか。今回は出席できなかった皆さん、次回のご参加をお待ちしています。

なお西本さんのご厚意により、当日の配付資料をホームページに掲載しています。とても分かりやすい資料となっていますので、ぜひご覧ください。

【文責：東孝次委員】



うっきーの突撃レポート

“オーガニックやまぐちと幼稚園がコラボ！”

協議会委員で「やまぐち食育くらぶ」 & ヤッタネ！やまぐち」代表の食育指導士うっきーこと西本葉子さんに、今回は“あけみちゃん農園”の吾郷明美さん取材していただきました。ホームページにも掲載しますが、会報でも報告させていただきます。うっきーさんの分かりやすい文章をご賞味ください。

食育指導士うっきー西本葉子です。
今日は幼稚園とオーガニックやまぐちがコラボしたお話と、今後の可能性について。

「幼稚園の給食に有機野菜を使いたい！」
「農薬を使っていない畑で子どもたちに農業体験をさせたい。」

「ヤッタネ！やまぐち」の「オーガニック給食」についての勉強会の際に、湯田・菅内幼稚園の園長先生と当会の東さんとの出会いがありました。その時に東さんが園からの要望をお聞きし、会員の吾郷明美さんがご紹介されました。



「五年前から市内の幼稚園児さんたちが農業体験にやって来るようになりました。現在は野田幼稚園、菅内幼稚園、湯田幼稚園の3つの園からじゃがいもやさつま芋を掘りにやってきます。四季折々に野菜の成長を見学がてら蓮華の花を摘んだり、そり滑りを楽しんだり、遊びのバリエーションも年々増えて、私たち夫婦にも楽しみな行事となっています。お芋堀では、持参の袋に持てないほどにつめこむ子や、「パパとママに」と、ほんの二個で満足している子と、個性をみせてくれます。幼少期に土と触れあうお手伝いが出来る事を嬉しく思っています。」

吾郷さんはすでに園児の受け入れ実績があったことと、湯田幼稚園とは御縁をお持ちで、話はとんとん拍子に運びました。

湯田・菅内幼稚園の阿野久子園長先生は、園庭にも畑を作り、子どもたちが土と触れ合うことを大切にしておられます。今の子どもたちの課題に、昔と変わってきた子どもたちの体力のなさがあるとお話されていました。



写真上：阿野久子園長先生
（ヤッタネ！やまぐち主催「食育フォーラム」）

世の中が便利で快適になって、水道の蛇口もひねらない、便座にもかがまない、そうした日常の動作が減って握力も体力もなくなってきている子どもたちの様子。土を触ったことがないから園庭で自由に遊べない子どもたち。すぐに風邪を引く子どもたち・・・そうしたことが農業体験を通して遅く変わっていく様子を感じておられます。



写真上：湯田幼稚園(園庭に玉ねぎ畑)

オーガニックやまぐちに期待される有機生産者との出会いの場！

山口市野田にある明星幼稚園さんから、有機生産者さんの紹介のご相談を頂いております。

明星幼稚園さんは 2023 年に「認定こども園(幼稚園型)」へ移行を計画されており、それに伴い自園調理の給食を開始されます。

2023年 認定こども園(幼稚園型)
4月 明星幼稚園
新規開園
現在、新園舎建設中！

新しい園舎で、いっしょにあそぼう！

幼稚園部(3歳～5歳児)につきましては、園舎全体に先立って、2022年度から新しい木造園舎での保育が始まります。

2022年度入園【説明会】
【開会】8月27日(金)
【説明会】8月28日(土)
【開園】9月1日(木) 9:00～

【山口県内一の歴史ある園】
学校法人 明星学園
明星幼稚園
山口市野田 170

☎ 083-922-2147
HP <https://www.myojo-kg.yamaguchi.com/>
✉ myojo.kg@gmail.com
📷 <https://instagram.com/myojokinder/>

その給食の中で有機野菜を取り入れることを検討されており、お話を頂きました。

オーガニックやまぐちで、これから協力して頂ける生産者さんを募り、具体的に進めていきたいと考えています。

「ゆうき給食の日」の署名が提出され山口市はどう変わっていくのか？

「オーガニックやまぐち」の皆様にもご協力いただきました署名を去る 8 月 24 日、山口市市長さんと教育長さんに無事手渡すことが出来ました。ご協力心より感謝申し上げます。



「ゆうき給食の日」は、農薬を使っていない野菜などで学校給食の献立を考えます。実際に「ゆうき野菜」を使って給食で食べてみることで、環境配慮型農業の啓発と推進、また子どもたちの食農教育の普及に貢献できる取組になります。

先日の総会において「ゆうき給食」についての勉強会の開催などが事業計画として立案されました。

山口市の有機農業推進については農政課直下にあるこの山口市有機農業推進協議会が大きな役割を担っています。

「ゆうき給食の日」実現について、これから山口市と共に力を入れて取り組んで参ります。

「ゆうき給食の日」の署名を山口市へ提出！！

「やまぐち食育くらぶ&ヤッタネ！やまぐち」が、令和3年(2021年)8月24日に、渡
辺純忠山口市長さんと藤本孝治山口市教育長さんへ、集まった署名を提出されました。
この署名活動は、「ゆうき給食の日」を実現しようと本年2月から取り組まれたもので
す。各種メディアが取材されたことから、既にご存知の方も多いかと思います。

集まった署名総数は

集まった署名総数は、6,250筆(署名
6,124筆、ネット署名126名)にも達し
たようです。署名活動を一緒に頑張った
子ども達が直接届ける様子は、「ゆうき
給食の日」の実現に大きな弾みをつけて
くれているように感じます。なお、この
ような場の設定に尽力されたのは、本年
2月から全面的な協力をされている入江
幸江山口市議さんだそうです。

署名で山口市は変わるのか

署名で山口市は変わるのかといった
問いかけが、署名活動をす
る中で、何度もあったそう
です。ゼロが1になること
で未来が変わる、教育が変われば未来が
変わると信じて、署名活動
に頑張ってきたのだそう
です。手渡しの場では、
市長さんから

「今は時代が後押しをしていますね。
SDGs、みどりの食料システム戦略…。こ
うしたことが経済振興にも関わってきま
すし、食育にも重要になってきます」と
あり、教育長さんからは「署名への思い

はよく分かりました。ゆうき食材を使っ
た給食については、本などでも情報を得
ながら、管理栄養士さんとも協議し考え
ています」とあったそうです。

「ゆうき給食の日」の始まりは

「ゆうき給食の日」の始まりは、単に
子供たちの健康を守るだけでなく、土と
自分たちが繋がっていることに気づく始
まりであり、みんなで、地域の農業や地
球の未来を考える始まりになると考えて
おられます。10数年前の食育では、命
を大切にしようと言われたのが、
今日では、土から命を考えて地球を守ろ

う、地域の農業
を守ってみんな
の健康を守ろう
といった新しい
時代になってい
るのだそうで
す。子ども達に
未来を語るに
は、持続可能な
形であることは
必須だともお考
えで、今回の取
組をスタート
に、一層励んで
いくと、新たな



決意をされています。

協議会としてもこの活動に全面的に支
援していきたいと考えています。。

(文責：東孝次委員)

山口市有機農業推進協議会

【事務局】

山口市農林政策課 TEL:083-934-2817 FAX:083-934-2651 E-mail:n-
seisaku@city.vamaguchi.lg.jp